

シンポジウム「医薬品開発のための化学工学」

主催：化学工学会バイオ部会

共催：産業技術総合研究所バイオニクス研究センター

我が国の医薬品開発を取り巻く状況については、特に欧米諸国との比較において、多くの問題点が指摘されています。医薬品分野はバイオテクノロジーの主要な応用先であることから、この分野において化学工学として何ができるかは、常々議論してゆかなくてはならない課題であろうと考えます。このような問題意識から、本シンポジウムを企画しました。

日時：8月1日(金) 13:00 から 17:30

場所：独立行政法人産業技術総合研究所臨海副都心センター 11 階会議室
www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tokyo_waterfront/tokyo_waterfront_map_main.html

(ゆりかもめ線テレコムセンター駅より徒歩 5 分)

プログラム

13:00 ~ 13:45【展望講演 1】創薬早期安全性評価における細胞工学利用の現状と展望
昭和大薬学部・客員教授 堀井郁夫

13:45 ~ 14:30【展望講演 2】創薬支援のための薬物動態評価系の確立：細胞系の樹立および数理モデルによる予測の重要性
東京大学大学院薬学系研究科分子薬物動態学・教授 杉山雄一

14:30 ~ 16:00 ポスターのフラッシュ講演

16:00 ~ 17:30 ポスター発表

17:30 ~ 19:00 懇親会

参加費：無料 (ただし、懇親会は一般 3,000 円、学生 1,000 円)

ポスター発表申し込み

A4 版で 1 枚の要旨(形式自由、カメラレディ、演題、演者名・所属を記すこと) を 7 月 25 日(金)までに e-mail にて下記にお送り下さい。お問い合わせ等も、下記にお願いします。

金森敏幸

産業技術総合研究所バイオニクス研究センター

E-mail t.kanamori@aist.go.jp

Phone 029-861-6286